

【バングルBCの下地→コバ処理剤を塗った後でも滑らかなコバができない場合】

講座通りコバ処理をしたのち、やすり掛けして滑らかにした後再度コバ処理剤を2回ほど塗ると更にきれいな仕上げができる方法をご紹介します

必要な人のみ（講座内容からは離れますが）行ってみてください

【使用資材】

クラフト社 サンドスティック荒目（2枚入） 荒目・細目の両面タイプ
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/lc-palette/c8699.html>

クラフト社 サンドスティック極細目（2枚入） 2枚同じもの
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/lc-palette/c8763.html>

荒目→細目→極細目→コバ処理剤1回→乾燥→コバ処理剤1回→繰り返しの回数は適宜

【注意事項】

簡単に考えて行くと必要以外のところを削ってしまう恐れがあります。

作品のコバに直角にサンドスティックを当て、丁寧にやすり掛けしてください。

その後再度コバ処理剤にて処理してください。

（下地が取れない程度にサンドするので、再び下地剤は不要と考えます）

通常、バングルBCに使用していますクロム鞣しの革はやわらかいのでサンドしてもキレイに仕上がらないのですが、一度コバ処理をしてから行う技法を今回はお教えいたしますのでお試しください。

なお、本来サンドスティックはバングルAのタンニン鞣しの革に有益なものです。バングルAのコバ処理にもお試し頂くことも可能です。

しかし、講座内でもお話していますがコバの処理はキレイな接着、圧着、カット、コバ塗り丁寧に！鉄則です。

後でサンドしてきれいにすればきれいに出来上がるというものではないことを覚えておいてください。

初心者の方がサンドするとモサモサになったり、必要以外の場所を削ってしまったりとかえってきれいに仕上がらないこともありますので、気を付けて行ってください。

また、サンドスティックは硬くて必要以外の場所を削らず使えるので、

初心者の方には使いやすいと思いますが、

注意して使えばサンドペーパーを使用することも可能ではあります。

その場合は240番→400番→1000番など番号を上げてサンドしていくといいと思います。

【艶なしから艶ありへ】

バングルBは艶なしのカラーとなっておりますが、艶あり仕上げにしたい場合はバングルCで使用するクリアーの艶ありを最後に塗って仕上げると艶ありとなります。